

TOKYO ART BOOK FAIR 2023

GUEST COUNTRY vol.7 NORDIC COUNTRIES

TOKYO ART BOOK FAIR (TABF) では、2015年からひとつの国や地域に焦点を当て出版文化を紹介する「Guest Country」という企画を行っています。これまでにスイス、ブラジル、アジア（中国、韓国、台湾、シンガポール）、アメリカ、オランダ、フランスを特集しました。

第7回を迎える今年の「Guest Country」では、北欧5カ国（ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、デンマーク、アイスランド）をフィーチャー。北欧から合計18組の気鋭の出版社が出展するほか、展覧会やトークイベント、スクリーニングなどさまざまなプログラムを通して、北欧のアートブックの世界を紐解きます。



Tove's Perspective トーベ・ヤンソンの視点

ムーミンの生みの親として、日本でもよく知られるトーベ・ヤンソン。1914年にリベラルな芸術家の両親のもとに生まれ、創作が常に身近にある環境で育ったトーベは、7歳で「トーベ出版」を立ち上げ本を出版し、その後も出版社から数多くの絵本や小説を出版しました。

TABFでは、フィンランド、ヘルシンキ在住のトーベ・ヤンソンの研究者、翻訳家である森下圭子をキュレーターに迎え、これまで刊行された絵本や資料などを一堂に集め、トーベを「本を作るアーテ

ィスト」としてご紹介します。またセレクションには、トーベによる日本版の印刷物や資料なども含め、トーベと日本の強いつながりにもフォーカスします。

さらには、トーベとパートナーのトゥーリッキ・ピエティラが20回以上の夏を過ごしたサマーハウスがあるクルーヴハルを始めとする群島の美しくも荒々しい自然、またそこに生えるキノコを捉えたホンマタカシによる写真を展示。トーベを長年追いつけている森下が「トーベを探すのではなく、トーベの眼差しを感じる作品」と語るホンマの写真を通して、トーベの視点を感じながら彼女の軌跡や思考を巡り、独自の世界観と北欧の魅力に迫ります。

また、ホンマの写真と森下が群島にまつわるさまざまなエピソードを執筆したエッセイを収録する作品集『群れた島々とキノコたち』もTABFの開催に合わせて刊行します。

協力：株式会社講談社、株式会社キュレーターズ

<関連書籍>

『群れた島々とキノコたち』

写真：ホンマタカシ 文章：森下圭子

アートディレクション&デザイン：脇田あすか

出版：TOKYO ART BOOK FAIR

ホンマタカシは、トーベ・ヤンソンとトゥーリッキ・ピエティラのクルーヴハルでの暮らしをドキュメントした映画『ハル、孤独の島』に感銘を受け、2016年にその島で撮影した写真をまとめた写真集『A song for windows』（LIBRARYMAN）を刊行しています。

その際もコーディネーションを務めた森下圭子とともに、今年9月にフィンランドの群島を再訪し、そこに生息するキノコや自然の姿を捉えました。本書には、ホンマが新たに撮り下ろしたそれらの写真と共に、森下が自身の群島での経験や、遊び心と冒険心溢れる島の人々の暮らしについて執筆したエッセイを収録します。

ホンマタカシ

2023年には『Thirty-Six Views of Mount Fuji』（MACK）、『TOKYO OLYMPIA』（Nieves）を刊行。2024年1月21日（日）まで、東京都写真美術館にて個展「即興 ホンマタカシ」を開催中。

森下圭子（来日予定）

1969年、三重県生まれ。ヘルシンキ大学でムーミンの研究をするために1994年秋、フィンランドへ渡る。以降ヘルシンキに在住し、現在はコーディネーター、翻訳者／通訳者として活動している。

「Tove's Perspective」展のための撮影のコーディネーターも担当。映画『かもめ食堂』ではアソシエート・プロデューサーを務める。主な訳書は、ミイのおはなし絵本シリーズ、『トーベ・ヤンソン 人生、芸術、言葉』『ムーミンとトーベ・ヤンソン 自由を愛した芸術家、その仕事と人生』など。

<関連イベント>

11月23日（木・祝）

12:30-13:30 ドキュメンタリー映画『トーベ・ヤンソンの世界旅行』上映

英題：Travels with Tove / 1993年 / フィンランド / 58分 / デジタル上映

監督：カネルヴァ・セーデルストロム

日本のテレビ局から招待されたトーベ・ヤンソンは、往復の航空券を片道2枚に変更してもらい、パートナーのトゥーリッキ・ピエティラと共に来日した。旅先で手に入れたコニカの8ミリカメラを手に日本各地を巡り、その後アメリカ、メキシコへと渡った8ヶ月の旅を記録し続けた。本作には、仲良く楽しそうに当時の思い出を振り返る二人の対話が収録されている。

11月23日（木・祝）

14:00-15:15 TALK EVENT「日本とフィンランド、そしてトーベ・ヤンソンを巡る対話」

登壇者：森下圭子（トーベ・ヤンソン研究者、翻訳家） x AYA IWAYA（グラフィックデザイナー）

ヘルシンキを拠点とする森下圭子とフィンランドでキャリアをスタートし、現在は東京で活動するグラフィックデザイナーであるAYA IWAYAによるトークイベント。日本とフィンランドの文化や生活、そしてアート、デザインの相違点、「Tove's Perspective」や映画『トーベ・ヤンソンの世界旅行』について語り合いながらトーベの魅力について掘り下げます。

11月26日（日）

12:30-13:30 ドキュメンタリー映画『ハル、孤独の島』上映

英題：Haru, the Island of the Solitary / 1998年 / フィンランド / 44分

監督：カネルヴァ・セーデルストロム、リーッカ・タンネル

クルーヴ・ハルは、フィンランドの群島のひとつ。徒歩10分程度で一周できてしまう小さな無人島に、トーベ・ヤンソンとトゥーリッキ・ピエティラは4面に窓がある1部屋だけの小屋を建て、25回の夏を過ごした。溶けゆく流氷、海鳥の鳴き声、静寂の中で沈むオレンジ色に輝く太陽...美しくも陰しい自然の中でひっそりと暮らす二人の生活の断片を8ミリカメラでとらえた本作からは、トーベのインスピレーションの源を垣間見ることができる。



Illustration: Hyuga Watanabe

Nordic Art Book Store

北欧5カ国のアートブックシーンを牽引する5名のキーパーソンたちが、コンテンポラリーなアートブックやZINE（約40～50タイトル）と、自国の出版文化に影響を与えた重要な書籍をセレクトした4日間限りのブックストアがTABFに登場します。ノルウェーからは、自身が立ち上げたファッションリサーチ国際図書館のディレクターを務めるエリス・バイ・オルセン、スウェーデンからは2018年からマルメという都市でアートブックビエンナーレを開催する「Malmö Artist's Books Biennial」のチームが参加。そしてフィンランド、デンマーク、アイスランドのキュレーターは、各国の首都を拠点に自身のアーティスト活動を行いながら、アートブックフェアや本に関わるイベントを積極的に行う、西田ひかり、ヨハン・ローゼンムンテ、シグル・アトリ・シグルソンが務めます。まだ知らない表現や才能とのたくさんの出会いがあり、北欧のアートブックシーンのこれまでといまに触れる機会を創出します。

【キュレーター】

ノルウェー

エリス・バイ・オルセン / Elise By Olsen（来日予定）

1999年生まれ。若干13歳にして創刊したカルチャー誌『Recens Paper』が、テート・モダン、ドーバー ストリート マーケット、10 Corso Como、パレ・ド・トーキョー、コレット、蔦屋書店などに並び話題を集め、2017年に18歳になるまで同誌の編集を手がけた。2018年にファッション業界で批評的な対話を生み出すことを目的に掲げる雑誌『Wallet』を立ち上げ、2020年にはファッションリサーチ国際図書館を創設し、現在はそのディレクターを務める。

スウェーデン

「MABB – Malmö Artist's Books Biennial」

MABB は、本という形態の構造的・概念的な特性にインスパイアされたアート作品のためのプラットフォームである。2018年にスウェーデン南西部に位置する都市、マルメでスタートした。2022年には、北欧諸国、ポーランド、英国、アイルランド、フランス、ドイツ、オランダ、日本、イタリア、アメリカなどから約30組の出展者が出展した。次回は、2024年5月に開催予定。

フィンランド

西田ひかり / Hikari Nishida (来日予定)

フランスで生まれ育ち、現在はヘルシンキを拠点に活動するアーティスト。2021年、フィンランドのインディペンデント出版社や国内外の作家、デザイナーによるアートブックやZINEなどの印刷物の流通に焦点を当てたプロジェクト「The Temporary Bookshelf」を立ち上げる。本にまつわるイベントを企画するほか、フィンランドのアート施設やフェスティバルのために本のセレクションも行っている。

デンマーク

ヨハン・ローゼンムンテ / Johan Rosenmunthe (来日予定)

1982年生まれ。コペンハーゲン在住。アーティストブックから彫刻的インスタレーション、パフォーマンスまでと、幅広い表現で知られるアーティスト。キュレーションや出版活動を行う「Lodret V andret」、展覧会スペース「New Shelter Plan」を主宰するほか、アートブック・フェスティバル「One Thousand Books」の創設者でもある。展覧会やシンポジウム、出版の企画やキュレーションを数多く手がける北欧のアーティストブック界の中心人物。

アイスランド

シグルドゥル・アトリ・シグルドソン / Sigurður Atli Sigurðsson (来日予定)

レイキャビクで活動するビジュアルアーティスト。社会構造を形成する要素をもとにした作品を制作しており、それらの多くは印刷物として発表されている。2015年、制作や出版などを行う「Print & Friends」を設立し、出版に関する専門家として国内外で展覧会の企画や講演を行っている。また、1970年代のガソリンスタンドを改装したYギャラリーや「レイキャビク・アートブックフェア」を運営している。

<関連イベント>

TALK EVENT「Nordic Art Book Store キュレーターズトーク」

日時：11月25日（土）17:00–18:30（受付開始 16:45）

来日予定の4名のキュレーターたちによるプレゼンテーション及びパネルディスカッションを行います。



Illustration: Yoko Nakayama

Kids' Reading Room

2022年よりスタートしたTABFの子ども向けコンテンツ「Kids' Reading Room」は、本年のゲストカントリーでもある北欧5カ国と日本のアート性の高い絵本を自由に読むことができるスペースになります。アンデルセンの古典童話をはじめ、『長くつ下のピッピ』のアストリッド・リンドグレーン、ムーミンシリーズのトーベ・ヤンソンなど、世界中で愛される名作を輩出する新旧さまざまな北欧の絵本をアートブックの視点で選びました。絵本の一部はアートブックやZINEを販売するTABFオリジナルの販売機「ART BOOK VENDING MACHINE」を用いて、北欧と日本の絵本とのユニークな出会いをご提供いたします。

また、スウェーデン政府が2002年に創設した、リンドグレーン記念文学賞を2022年に受賞した、スウェーデン出身の絵本作家エヴァ・リンドストロムによる絵本の中のシーンを、Kids' Reading Roomの壁面にて大きく展開いたします。

協力：リンドグレーン記念文学賞、スウェーデン大使館、株式会社 子どもの文化普及協会

助成：スウェーデン芸術評議会



エヴァ・リンドストロム（来日予定）

1952年生まれ。ストックホルム在住。漫画家としてキャリアをスタートし、スウェーデンの新世代のコミックアーティストたちに多大なる影響を与えている。絵本作家としても世界的に高く評価され、これまでに国際アンデルセン賞、アストリッド・リンドグレーン記念賞など数々の賞を受賞している。

<関連イベント>

TALK EVENT「国境を超える絵本の世界（仮）」エーヴァ・リンドストロム x 荒井良二

日時：11月23日（木・祝）16:00 – 17:15（受付開始 15:45）

登壇者：エヴァ・リンドストロム（絵本作家）、荒井良二（絵本作家）

今年の「Guest Country」のひとつであるスウェーデンには、アストリッド・リンドグレーン記念賞という児童文学、青少年向けの文学作品に与えられる文学賞があります。本トークでは、同賞を2022年に受賞したスウェーデン出身のエヴァ・リンドストロムと2005年に日本人として初めて受賞した荒井良二が登壇し、それぞれの作品やスウェーデンと日本の絵本の相違点などについて語り合います。



北欧映画祭 ～Nordic perspective～

TOKYO ART BOOK FAIR 初の試みとして、東京都現代美術館の近隣（Neighbours）であるミニシアター「Stranger」にて、映画祭を開催します。

上映するのは、今年の「Guest Country」である北欧5カ国（ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、デンマーク、アイスランド）のドキュメンタリー映画9作品。トーベ・ヤンソンの映画3作品をはじめ、アート、デザイン、音楽、環境問題など、さまざまなテーマを掘り下げた映画を通し、北欧の視点を読み解きます。作品に関連したアートブックの展示や、トークイベントなど、TOKYO ART BOOK FAIRならではの企画もご用意します。

上映作品：

- 『トーベ・ヤンソンの世界旅行』（1993）
- 『ハル、孤独の島』（1998）
- 『トーベとトゥーリッキの欧州旅行』（2004）
- 『ザ・ヴァスルカ・エフェクト』（2019）
- 『見えるもの、その先に ヒルマ・アフ・クリントの世界』（2019）
- 『画家と泥棒』（2020）
- 『アアルト』（2020）
- 『コペンハーゲンに山を』（2020）
- 『アポロニア、アポロニア』（2022）

開催期間：2023年11月24日（金）～12月7日（木）

会場：Stranger

住所：130-0024 東京都墨田区菊川3-7-1 菊川会館ビル1F

Stranger公式ウェブサイト（タイムテーブルなどの詳細は、こちらでご確認いただけます。）

URL : <https://stranger.jp/movie/1829/>

北欧映画祭にまつわる最新情報を発信するため、

「TABF CINEMA CLUB」というインスタグラムアカウントを作成いたしました。

Instagram: @tabf_cinema

TOKYO ART BOOK FAIR 2023

プレス画像は、以下よりダウンロードください。

https://drive.google.com/drive/folders/1xofi9PE07e9DgSwvoUWSxWRud__wP_5f?usp=sharing

※ TABFの展覧会、スペシャルブース、近隣施設をご紹介する企画「ネイバーズ」についてご紹介するプレスリリース第一弾は、以下よりダウンロードください。

https://docs.google.com/document/d/1tk4oRcU-qsBg_F4Yp51-WphsMm2VYuhmxv4ozYra3Xg/edit?usp=sharing

※ ワークショップ、ライブパフォーマンス、トークイベントの詳細につきましては、後日配信予定のプレスリリースにてご案内させていただきます。

URL: <https://tokyoartbookfair.com/>

Instagram: [@tokyoartbookfair](https://www.instagram.com/tokyoartbookfair)

X: [@tabf_info](https://twitter.com/tabf_info)

Facebook: [@tokyoartbookfair](https://www.facebook.com/tokyoartbookfair)

プレス担当：鳥海 press@tokyoartbookfair.com